

富士川

町民の皆さん

明けましておめでとーいございます

富士川町長 中川 国兵

富士川町役場発行
No. 126 昭和46年1月7日
富士川町岩淵121番地
☎ 1 1 1 1



昭和四十六年の新春を迎えて、天地万象すべて清新の気に溢れ、人心また希望に満ちて躍進が期待されますことは、皆様と共に慶祝に存するところであります。

回顧いたしますと、昨年は「進歩と調和」を目標に掲げた万国博という、世界注目の人類の饗宴が繰りひろげられ、七十年代の幕は日本によって開かれた感じとお深いものがあります。

終戦以来日本領土でありながらその施政権が米軍の手中に収められていた沖繩は、ようやく復帰が決定、七十二年には実現することになり、戦後という重苦しい肩の荷は消えることになりました。北

方領土問題、対中国問題等、今後にのこされた課題はありますが、これは国民の冷静かつ達観的判断によって解決される問題であります。

町勢は

順調な伸び

翻って富士川町の昨年を回顧いたしますと、四十五年度当初予算は四億五千二百万円、これに補正予算を加えますと実に五億二千万円になんなんとする大型予算となり、人口においては、十月に施行された国勢調査の結果によれば、一万四千九百五十九人となり前回に比べ六七七人の増で町勢の順調な伸びを示しております。

六月一日町政施行七十周年を迎えて記念行事を行ない、自治功勞者の表彰に加え、新たに制定された名誉町民条例により、佐藤虎次郎、野田力三、野間省一、齋藤頼

夫、井上俊夫の五氏に名誉町民の称号を贈って、町発展に尽されたご功績を称えたのであります。

これと共に町民多年の宿願であった岩淵駅新築駅舎が竣工し、町民の駅にふさわしい構造と近代的な外観を誇る姿となり、同時に富士川駅と改称、郵便局、電報電話局の名称も富士川と改称されたことは、町史に永くのこることでありましょう。

大乗窪に

住宅団地

県管工業用水事業の施行を機会に、わが町では大乗窪に団地を造成して住宅を建設する計画をたてすでに用地の買収を終り、住宅難解消の一役を担うこととなります。三町合併の問題は、推進協議会を設け或は事務局を置いて調査研究をすゝめ、町民の総意を問うべく各区において説明会を開き、鋭意努力を払ってまいりましたが、七月下旬に至り、四十六年四月の合併は時期尚早との結論に達して見送ることになりましたことは、皆様ご承知の通りであります。

本年最大の課題

「公害」

最近に至ってとみに世論の高ま

った公害、大気汚染・工場排水の問題は、当町としては町民生活を脅かす重大な問題として、その抑止に当ると共に、県道バイパスの建設を陳情し続けてまいりましたこれらの諸問題は、本年度の大きな課題であります。

交通公害については山砂利対策委員会を中心に、前年に引き続いて県道富士川富沢線の産業開発バイパスの促進を強く要望しており、洪水緩和の明るい見通しも見えております。

フッソガス、一酸化炭素等大気汚染対策としては、現在汚染度の調査を続け、発生源への防止施設の要望を行ない続けております。

庁舎建設

役場庁舎は建築後すでに六十年を経過し、町政の膨脹につれて狭隘をつけ増築また増築を続けてまいっておりますが、腐朽が甚だしく修理に多額の費用を要するのみか、重要書類の管理にも不十分で災害の危険もあり、町民へのサービスにも著しく支障を生じご迷惑をかけている次第であります。

学校施設優先の方針から今日まで遷延しておりましたが、もはや限界点にきていますので、四十五年度中に建設すべき消防庁舎とあわせて、(裏面へ続く)

町民へのサービスと町政事務向上のため、庁舎の建設は早急に実施したい考えであります。

中学校改築

早期実現を

中学校の改築は一、二中の統合問題とから延びておりますが現校舎改築の場合、建物の危険度が基準に達しないため公共事業の指定が困難で、目下関係方面に強力に運動して一刻も早く建設が進められるよう折衝中でありませう。

昨年からのこの問題について教育懇談会を設置して協議してまいりましたが、交通事情その他種々の問題があり、結論に達しておりませんが、早急に建設の方向を確立し早期実現を期してすすめる覚悟です。

また教職員住宅も松野、岩淵地区に近く完成する予定で、わたしたちの子弟の教育にたずさわる教職員皆さんの生活環境整備にも意を注いでいます。

富士宮由比線

完成の見通し

県道富士宮由比線につきましまして、公共事業採択後事業も進み今

年は完成の見通しとなり、町営下水道事業も本年から着手、小池川改修も着々と進み町民の生活基盤の向上と災害防止に対処しております。

四月は町議選

きたる四月の地方統一選挙には町議選挙が行なわれ、町政に参画する新議員が決まることになりますがこれら新議員の方々が、町民代表として町政振興のためご努力くださるよう期待しております。

重要な問題を

積極的に

私は過去六年半にわたって町政を担当し、幸いにして町議会をはじめ町民各位のご支援をいただき町民の為の政治を、所信にたがってすすめてまいりました。先に述べましたように、今後の問題については重要な問題、小なりとも捨ておけない問題を優先的にとりあげ、あくまでも積極的にする覚悟であります。

議会をはじめ町民各層のご支援ご協力をお願いいたしまして年頭のごあいさついたします。

「公害」「中学校舎改築」

「庁舎建設」を考える

富士川町議会議長 望月 亀 歳

心から新春のお慶びを申しあげます。

さて、本年、当町の進むべき道の前には、昨年から持ちこされた大きな課題が幾つか横たわっております。

まず全国的な公害問題（大気汚染・交通・水質汚濁・ゴミ・悪臭騒音等）があげられます。この解決には、国、地方自治体の腰を据えた十分な施策が要望されるところでありますが、わたくしたち地域住民の一致団結した「人間性回復の努力」も必須条件となりましょう。公害排除の命題は、町民としてばかりでなく、日本人として人類の一員として、ひしひしと義務感を覚えさせるようになってきております。

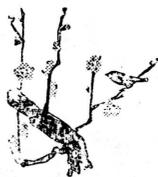
当町の場合、日軽の煙害問題をはじめとする大気汚染、県道富士川富沢線等の交通公害、産業廃棄物などのゴミ公害等々、そのいずれをとっても容易に解消できぬ難題に阻害されています。

しかし、町当局は、県あるいは

国に積極的に働きかけ、解決策の実現に鋭意努力されており、町議会といたしましても、感謝と同時に相協力し続けてきているところでありませう。

昨年の暮にはいって、中学校舎の改築問題と役場庁舎建設の問題が競合するような経過を見るに至りましたが、このどちらも早急にすすめてはならない時点にきており、町民皆様さんのご理解とご協力を得て、ともに立派な成果となられんことを念願するものであります。

わたくしは、年初にあたり、「公害」「中学校舎改築」「庁舎建設」の三点をあげ、町民皆様さんとともに考えたいと思う次第です。



新年賀詞

助役	高岡文夫
収入役	芦沢美之作
企画課 課長	大久保芳夫
総務課	芦川藤雄
税務課	渡辺 勝
衛生課	久保田安男
住民課	望月計夫
建設課	加藤 勲
水道課	望月義信
町職員一同	

教育長	原田良之輔
教育課 課長	平田広胤
公民館長	田村重雄
教委職員一同	
議会議員一同	
議会事務局	